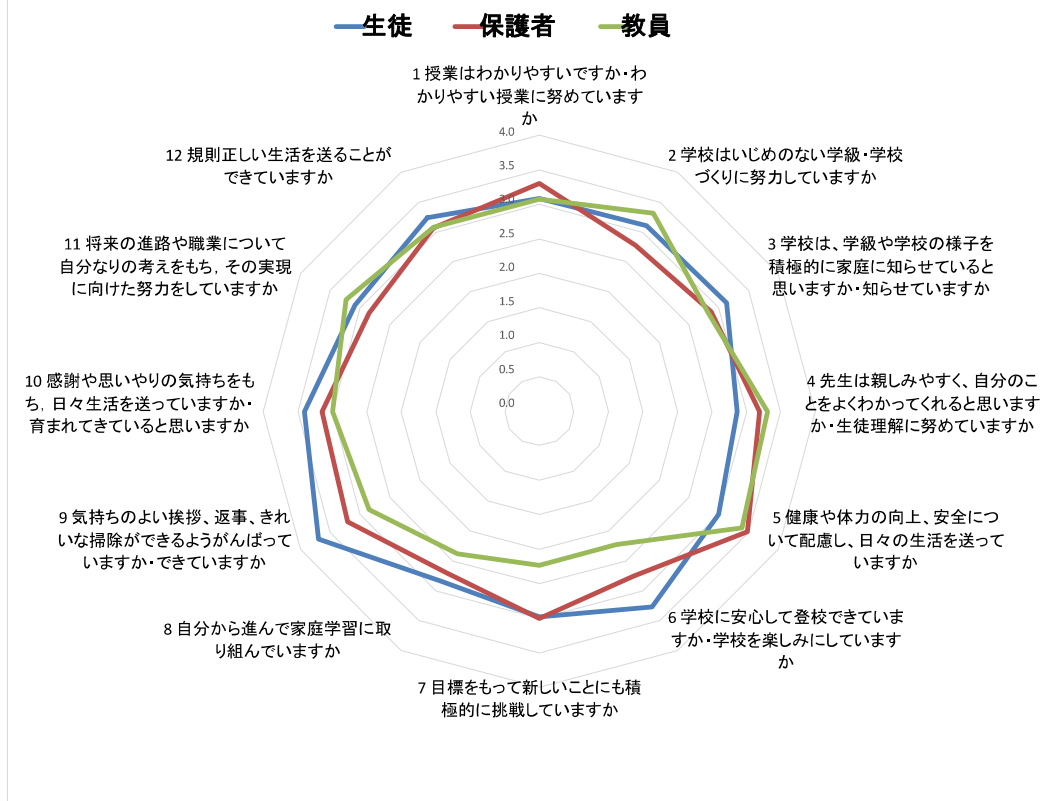


令和4年度 陸別中学校評価アンケート(後期)結果

		生徒	保護者	教員
1	授業はわかりやすいですか・わかりやすい授業に努めていますか	3.1	3.3	3.1
2	学校はいじめのない学級・学校づくりに努力していますか	3.1	2.8	3.3
3	学校は、学級や学校の様子を積極的に家庭に知らせていると思いますか・知らせていますか	3.1	2.9	2.8
4	先生は親しみやすく、自分のことをよくわかってくれると思いますか・生徒理解に努めていますか	2.9	3.2	3.3
5	健康や体力の向上、安全について配慮し、日々の生活を送っていますか	3.0	3.5	3.4
6	学校に安心して登校できていますか・学校を楽しみにしていますか	3.3	2.8	2.2
7	目標をもって新しいことにも積極的に挑戦していますか	3.0	3.0	2.2
8	自分から進んで家庭学習に取り組んでいますか	2.8	2.7	2.4
9	気持ちのよい挨拶、返事、きれいな掃除ができるようがんばっていますか・できていますか	3.7	3.2	2.8
10	感謝や思いやりの気持ちを持ち、日々生活を送っていますか・育まれてきていると思いますか	3.4	3.2	3.0
11	将来の進路や職業について自分なりの考えをもち、その実現に向けた努力をしていますか	3.1	2.8	3.2
12	規則正しい生活を送ることができていますか	3.2	3.1	3.1

令和4年度 後期学校評価共通項目結果



令和5年 3月 6日

陸別中学校保護者 各位

陸別町立陸別中学校
校長 桜井紀夫

令和4年度 学校評価アンケート結果を生かした今後の学校運営について

早春の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、今年度2回実施いたしました学校評価アンケートの結果について、比較分析を行い、まとめましたので配布いたします。

本校では、例年、年2回実施しアンケート結果の考察・分析をしているところですが、課題が見られる部分につきましては、改善に向けてさらなる取組を学校全体で行って参ります。今後とも、ご支援とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

記

1 調査結果の分析・考察について

(1) 生徒の結果より

数値が高い項目

「気持ちのよい挨拶、返事、きれいな掃除ができるようがんばっていますか」 (3.7pt)

数値が低い項目

「家庭学習によく取り組んでいますか」 (2.8pt)

○ 「気持ちのよい挨拶、返事、きれいな掃除ができるようがんばっているか」の項目が前期に比べて上がっていることから、学校生活に対して、自分なりに頑張ろうと努力する表れが見られる。

● 「家庭学習によく取り組んでいるか」の項目は、生徒の前・後期の数値は変わらないが、保護者・教員の数値が下降している。生徒は、1年間同じように家庭学習を続けているが、内容の質や量に変化が見られず、保護者はテストの点数、教員は進路実現に向けてということで見ているため、数値の乖離が著しくなっている。生徒の頑張りを認めつつ、より良い行動につなげていけるよう助言を行い、生徒を高められるような指導が必要である。

(2) 保護者の結果より

数値が高い項目

「学校は、健康・安全や体力向上を目指す指導ができていると思いますか」 (3.5pt)

「わかりやすい授業に努めていると思いますか」 (3.3pt)

数値が低い項目

「おさんは自分から進んで家庭学習に取り組んでいますか」 (2.7pt)

「学校はいじめのない学級・学校づくり努めていると思いますか」 (2.8pt)

○ 「わかりやすい授業」については、普段から授業改善に向けて取り組んでいる成果が、授業参観等を通して、伝えることができたからだと考えられる。

● 「いじめのない学級・学校づくり」については、前期と比べて保護者の数値は微増しているが、依然として低い状況である。問題発生時にしっかりと指導をしているが、問題が発生しているということ自体が「いじめのない学級・学校づくり」に努力しているとはいえないと受け取られていると考えられる。普段からいじめ防止に向けた取組を行い、情報発信していく。

(3) 教職員の結果より

数値が高い項目

「生徒が安全に安心して登校できるよう、学級や部活動などの環境づくりをしていますか」(3.4pt)

「生徒とよく触れ合い、一人ひとりの生徒理解に努めていますか」(3.3pt)

「常にいじめのない学級・学校づくりのため十分な指導を行っていますか」(3.3pt)

数値が低い項目

「目標をもって新しいことにも積極的に挑戦していますか」(2.2pt)

「生徒が学校を楽しみにしていると思いますか」(2.2pt)

- 前期に比べ、「生徒とよく触れ合い、一人ひとりの生徒理解に努めていますか」「生徒が気持ちのよい挨拶、返事、掃除ができていますか」との項目については数値が上昇しているが、生徒とは乖離している。より生徒を見つめ、成長や良いところを認め褒めるなど、今後も生徒・保護者の目線に立った教育活動を推進していくことが大切である。

(4) 三者共通項目の比較より

- 前期と比較して、「気持ちのよい挨拶、返事、きれいな掃除ができるようがんばっていますか・できていますか」の項目が、三者とも上昇している。ただし、他の上昇している項目は、生徒と、保護者・教職員で異なっている。そのことが前期に比べてレーダーチャートのずれにつながっている。三者が共通に成長を感じられるような、手立てが必要である。

- 前期と比較して、三者ともに下落している項目のうち、最も平均値が低いものが「8 自ら進んで家庭学習に取り組んでいる」である。前期に比べ、生徒には変化がないものの、保護者・教職員が低下するなど、特徴的な結果となっている。

タブレット端末の家庭学習での活用を進めているが、家庭学習習慣の定着も含めた望ましい家庭生活のあり方について、生徒たちへの指導を継続するとともに、保護者と学校間での情報共有・相談体制づくりが今後も大切である。

